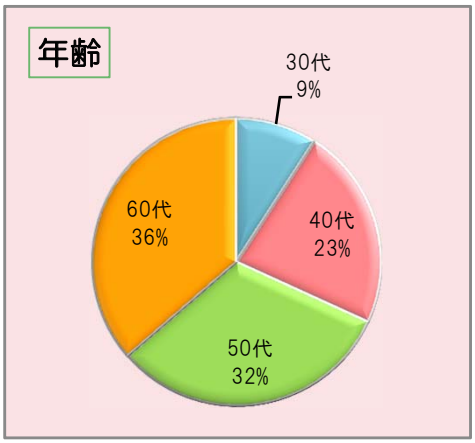
道営畑総事業　東藻琴西部地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

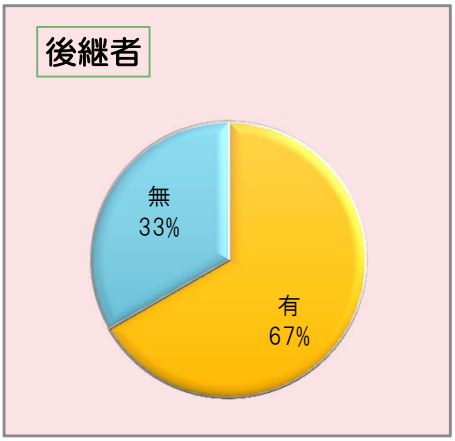
事業名	地区名	市町村	受益面積	受益戸数	採択年度	工期
畑地帯総合整備事業	東藻琴西部	大空町	853.9ha	66戸	H19	H19～H24

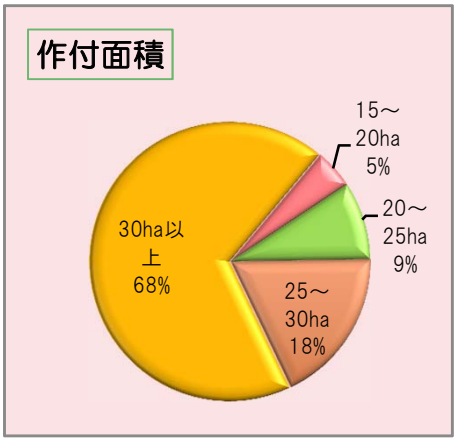
工事内容					
土層改良					暗渠排水
客土	心土破砕	土壌改良	区画整理	農地造成	212.8ha
70.1ha	552.8ha	362.5ha	128.5ha	11.3ha	

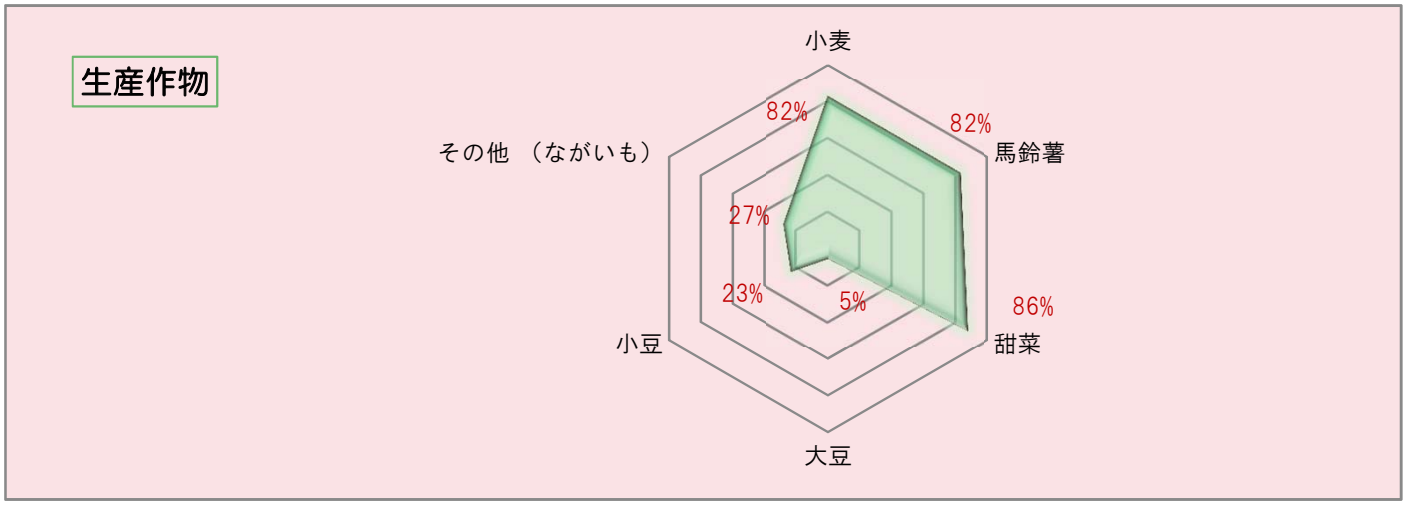
■アンケート回収率：２２／６６　＝３３．３％

Ⅰ　基本事項







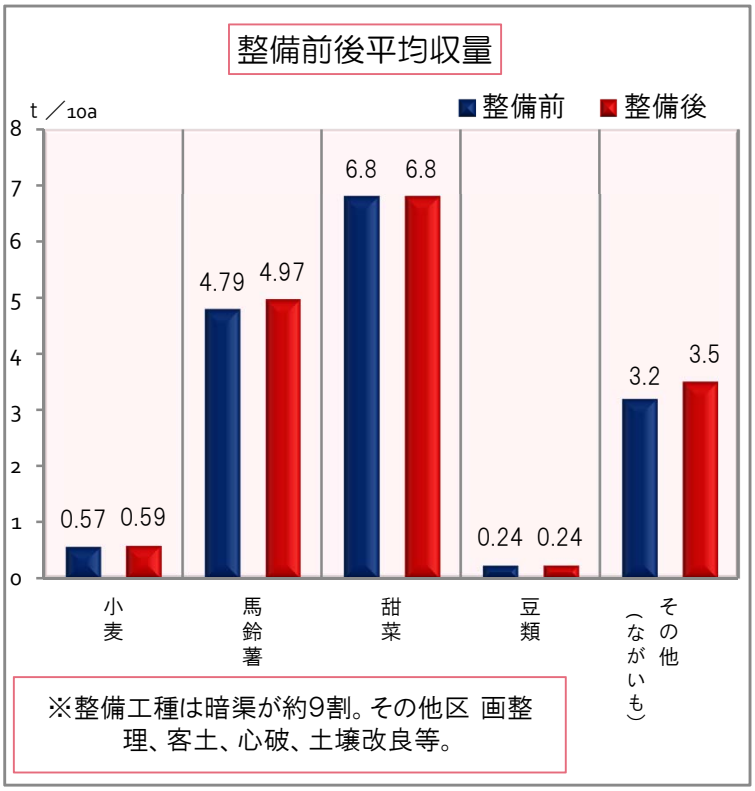


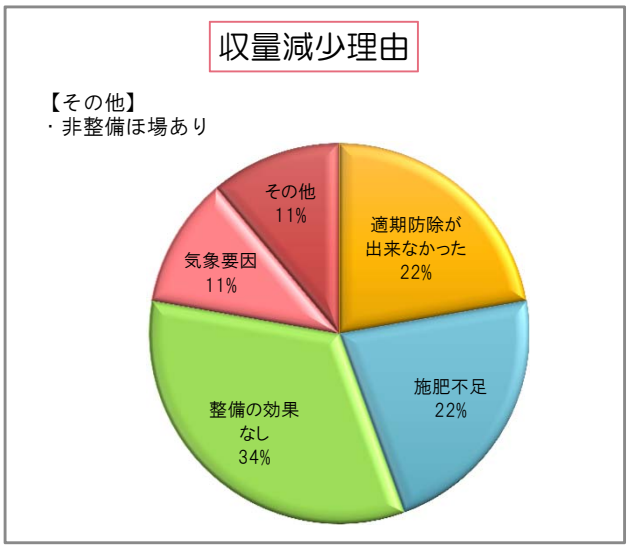
■年齢：50代以上が68%と高齢化傾向。
■後継者：67%が後継者有り。
■作付面積：30ha以上が約7割。
■生産作物：甜菜が86%、次いで小麦、馬鈴薯が82%の作付。畑作3品を主体とし、ながいもの生産は約3割。

道営畑総事業　東藻琴西部地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

Ⅱ　事業効果

■１　収量効果：整備前の平年収量と事業整備後の平均収量及び収量が減少した場合の要因

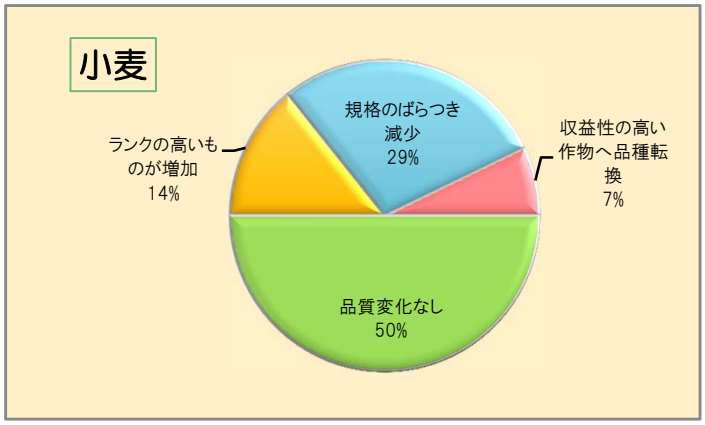


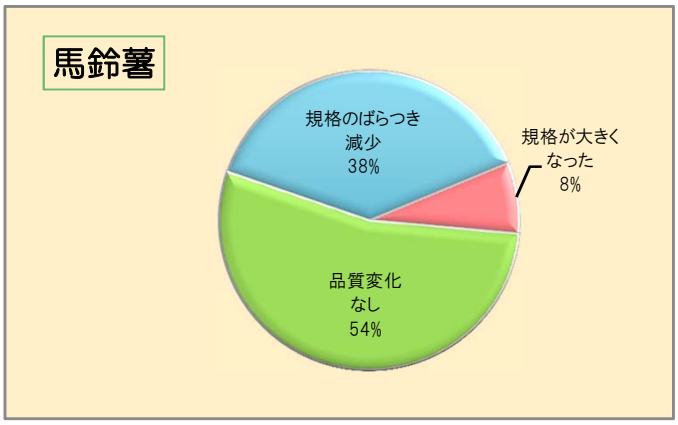


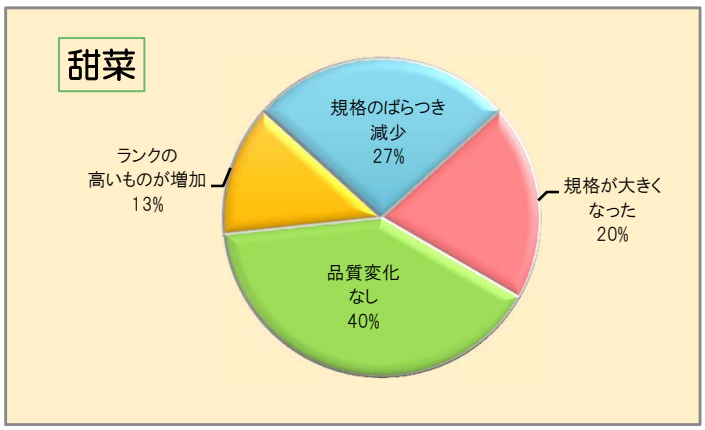
■収量は、小麦、馬鈴薯、ながいもが収量増加。
■甜菜、豆類が変化なし。

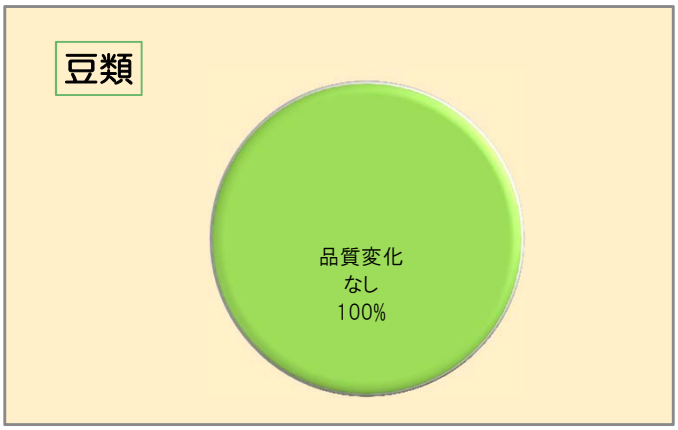
【気象要因減少理由】

■２　品質変化：事業整備後の品質変化







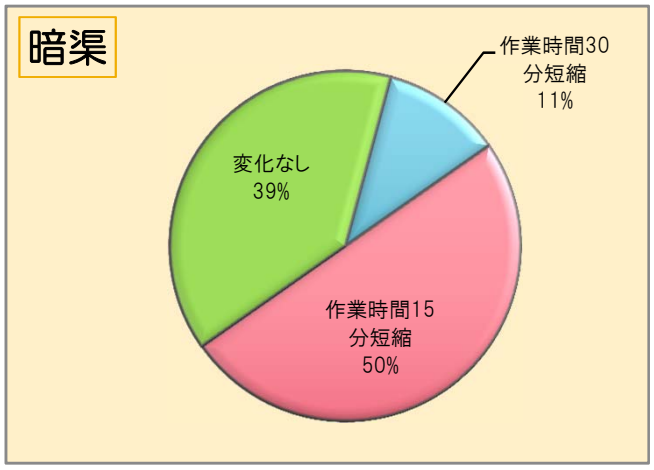


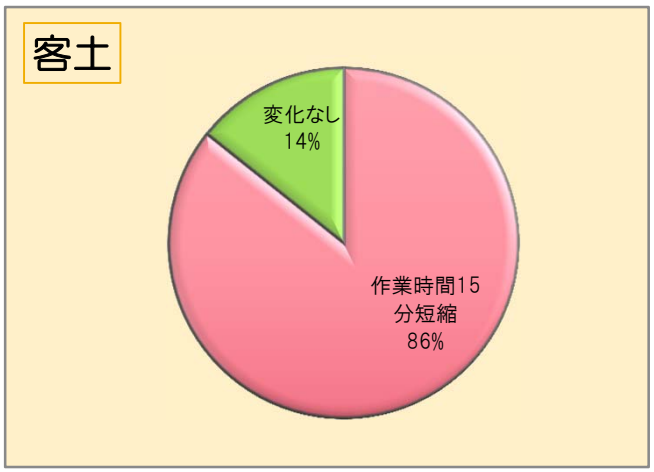
■小麦：約5割が品質の改善効果あり。
■馬鈴薯：約5割が品質改善効果あり。
■甜菜：約6割が品質の改善効果あり。
■豆類：品質変化なし。

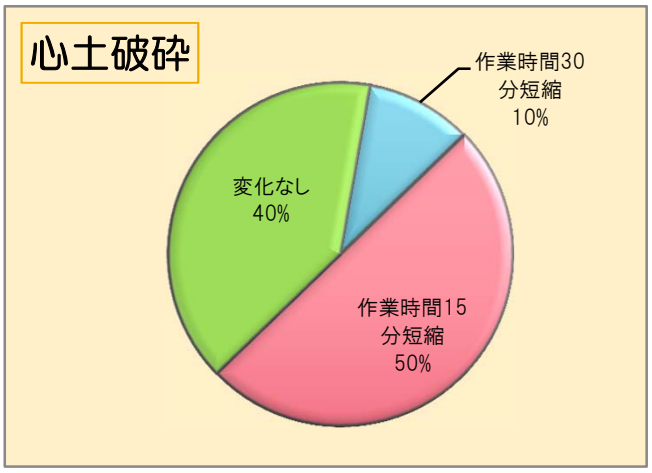
道営畑総事業　東藻琴西部地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

■３　営農効率：事業整備後の営農効率の変化とその要因

①営農効率変化
（※1時間当たりの軽減時間）





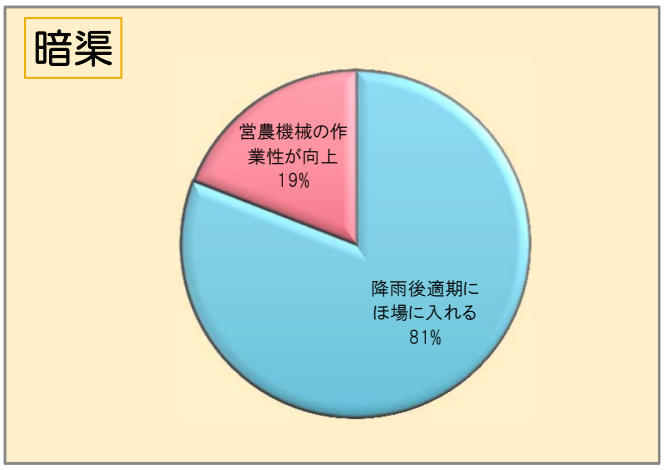


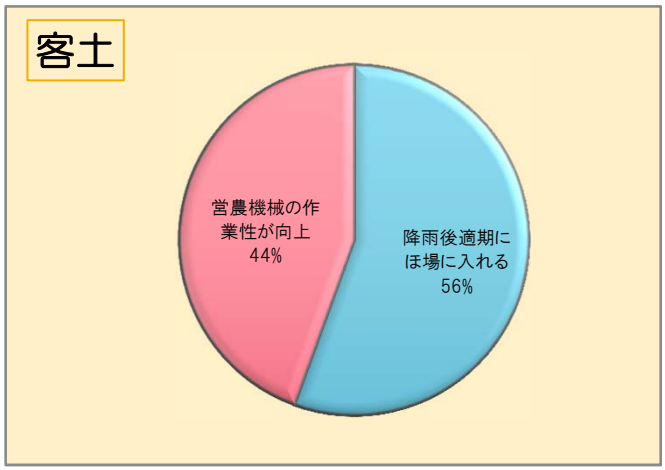
■暗渠：約6割が作業時間軽減.

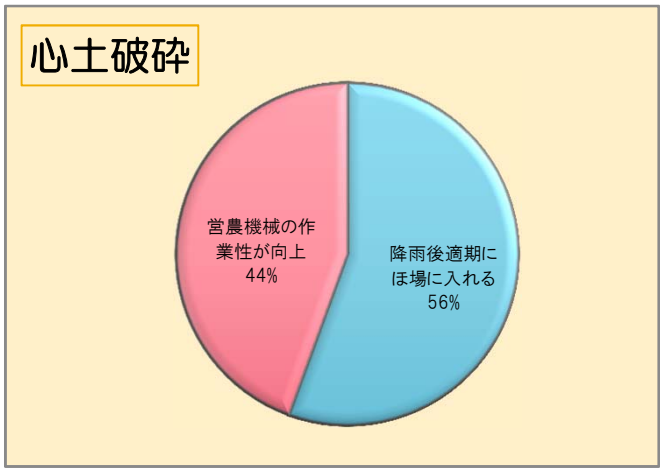
■客土：約9割が作業時間軽減。

■心土破砕：約6割が作業時間軽減。

②営農効率向上の要因







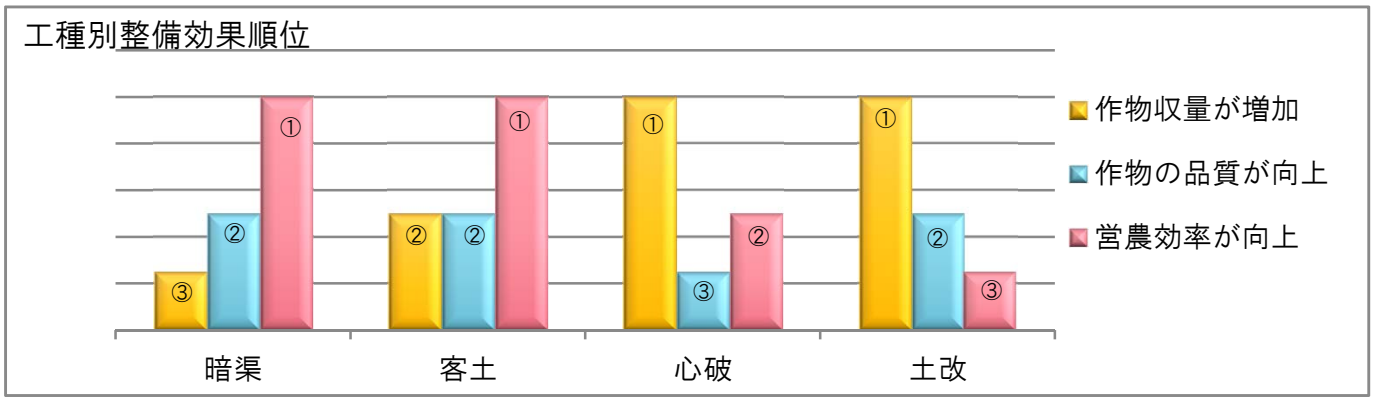
■暗渠：降雨後適期ほ場が約8割。

■客土：降雨後適期ほ場が約6割。

■心土破砕：降雨後適期ほ場が約6割。

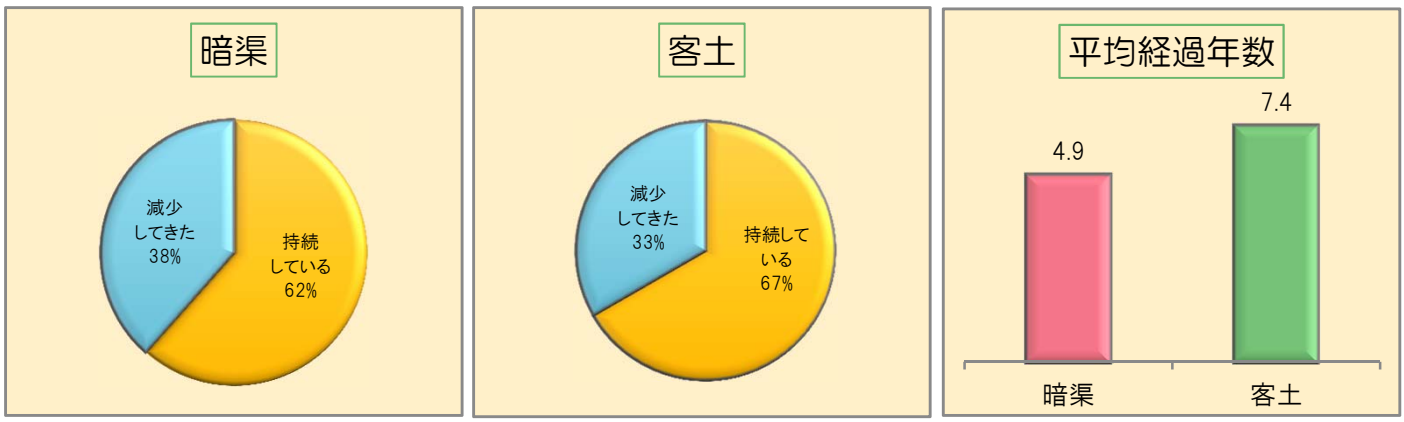
道営畑総事業　東藻琴西部地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

■４　整備効果：効果のもっとも高かった順位。



・暗渠、客土は営農効率の改善。心土破砕と土壌改良は収量増加が一番効果が高かったと評価。

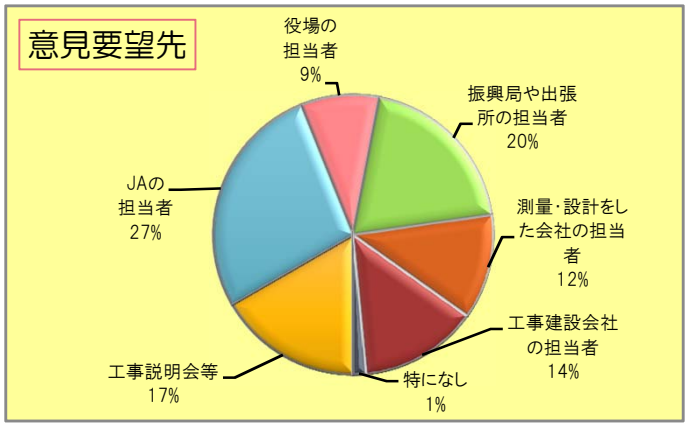
■５　事業効果持続：整備経過年数と効果の状況。



【減少理由】
■暗渠：暗渠の中にコケ。大型機械での踏圧。暗渠パイプが詰りつまり効果減少。
■客土：黒土の量に対し、客土が少ない。

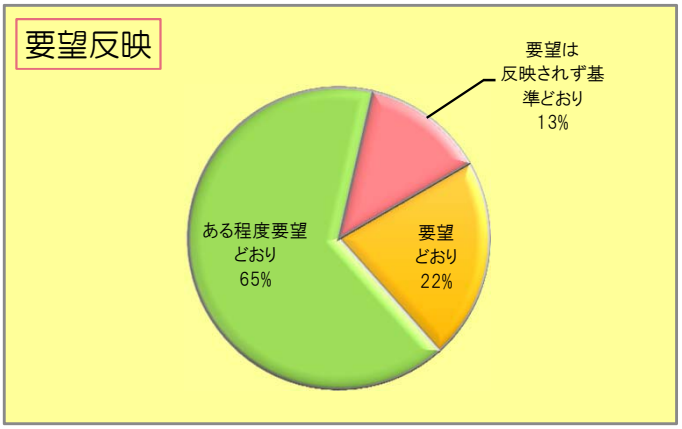
Ⅲ　工事内容

■１　工事に関しての意見要望先



■意見要望先の約3割がJA,出張所担当者は2割との回答。

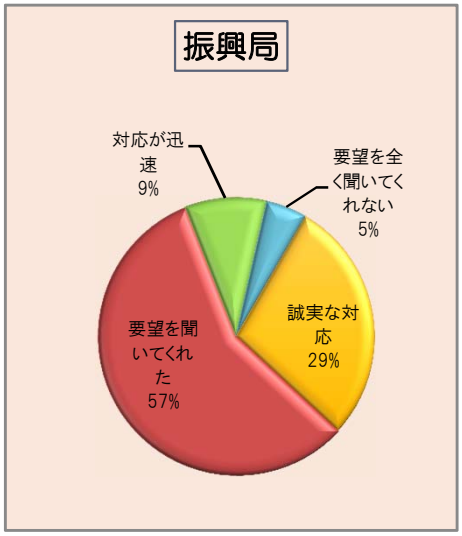
■２　工事への要望反映状況

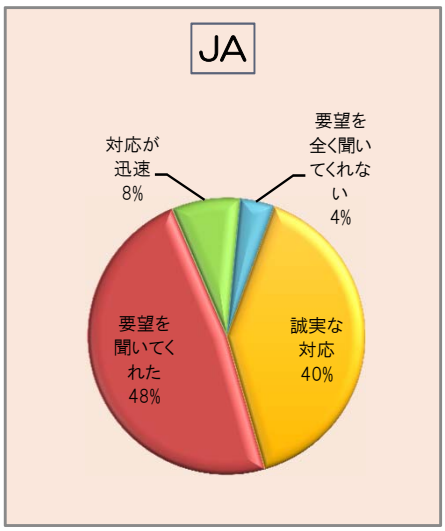


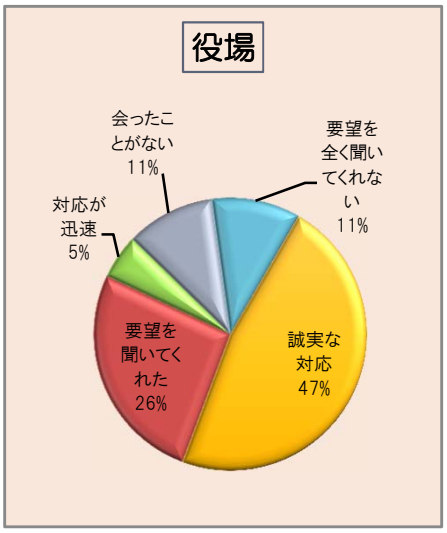
■要望の反映度としては約9割。基準通りは約1割との回答。

道営畑総事業　東藻琴西部地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

■３　所属担当者の対応状況







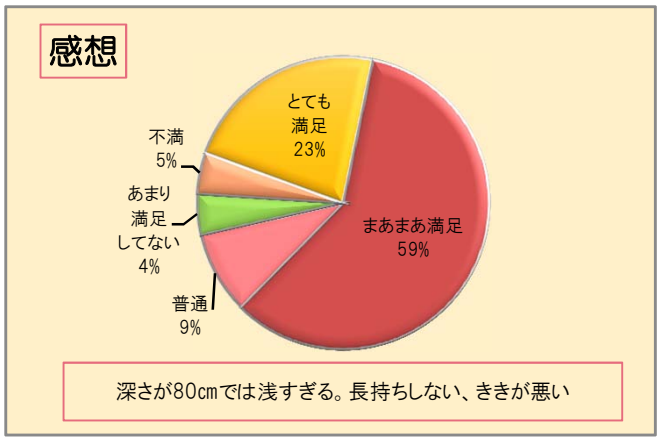
■振興局･JA･役場とも対応について高い評価。一部、5%程度意見が反映されなかったとの回答。

■4　工事監督員対応評価

【良かった点】
･不具合に何度も対応してくれた。　　･丁寧な説明。
･話を聞いてくれた、対応もしてくれた。　　･困った点などを理解して対応してくれた。
･工事の結果に応じて意見を聞き入れてくれた。

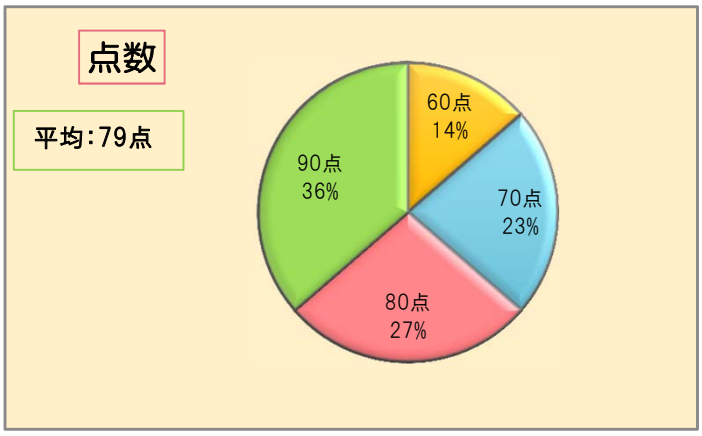
【悪かった点】
･図面説明等現地で細かく具体的に説明するとイメージしやすい。
･基準以外のことはやらない。
･1回の設計ではなかなか思う通りにはならない

■5　工事の感想



■約8割が満足との回答。

■6　事業全体評価点数



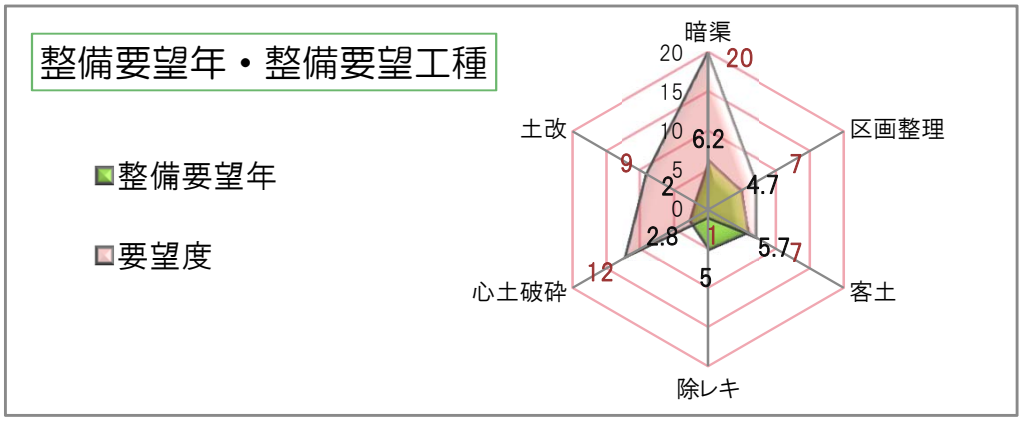
■平均79点評価。約4割が70点以下との評価であるため、今後の事業実施に向けての課題あり。

道営畑総事業　東藻琴西部地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

Ⅳ　今後の基盤整備要望について

■１　今後の事業参加

■２　整備要望・整備要望年



■今後の事業参加：100%参加要望。

■整備要望工種：暗渠が20ポイントと整備要望が高い。次いで心土破砕、土壌改良の要望。

■整備要望年：暗渠、客土が平均6年後の整備要望。

■３　今後、農業を持続していく上での課題

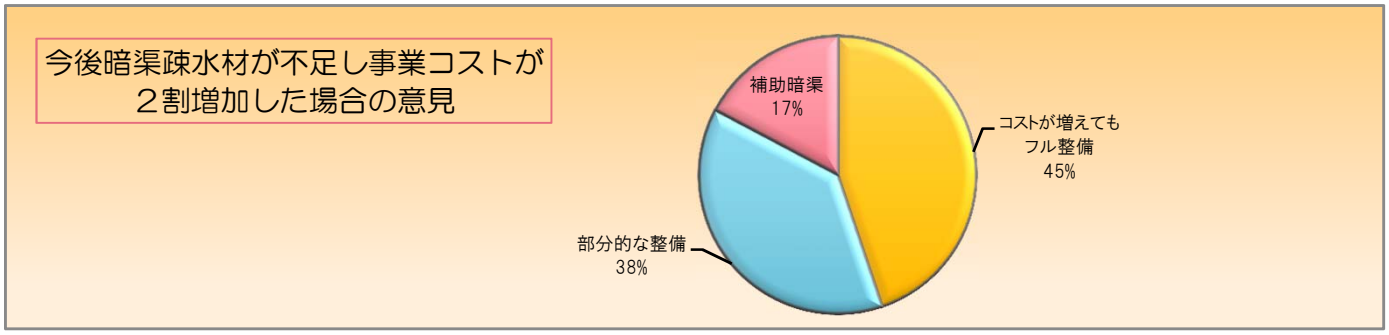
①営農で一番困っている課題

・営農面積の不足。
・暗渠排水。
・区画の多さ。
・だんだん規模が大きくなり労働力、機械が足りない。
・機械がほ場に入れなくなること。
・低い土地に住んでいるので暗渠事業などがなくなると営農継続にかかわってくる。
・事業コストが上がると事業を行う事が出来なくなる。
・ほ場（変形）が小さいため作業効率が悪い。
・借地で事業をやる上での支払いと借用を継続できるかという事。

②基盤整備による改善

・まだ山があり基盤整備事業希望します。
・区画整理（筆面積の拡大）、暗渠整備。
・暗渠排水、区画整理。
・定期的な事業があることが大切です。（8年以上あかない事）

■４　今後の暗渠整備要望



道営畑総事業　東藻琴西部地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

■5　今後の基盤整要望

・何事も事業費負担が少ないほうが良いです。

・水みちの多い所はパイプの間隔を狭める6m～3m。

・事業負担が増加しても暗渠を深く施工してほしい。受益者要望を反映してほしい。

・暗渠排水資材を事業ごとに統一するのではなく受益者の希望も入れて欲しい。例：ポリ管→素焼土管

・暗渠、心破、区画整理。

・河川等で賃借しているほ場も事業できるようにしてほしい。

・農作業機械の大型化によりパイプ破損のおそれがあるため、暗渠の深さは90cm以上入れてほしい。

・暗渠排水（事業費負担が増加しても施工幅をつけてほしい）

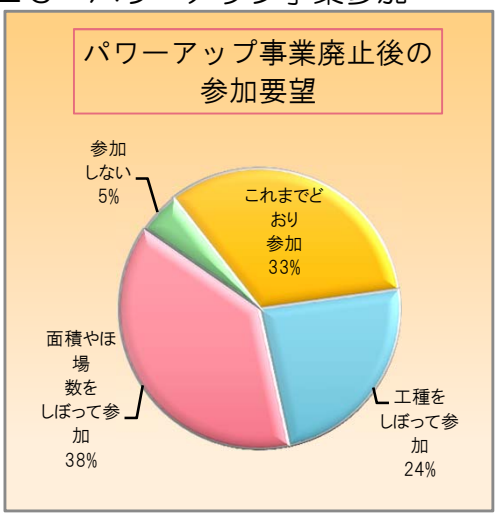
・暗渠排水は事業費負担が増加しても暗渠を深く施工してほしい。

・客土を8年以内に再整備できるようにしてほしい。

・ブルを使用しない均平をできるようにしてほしいレーザーレベラー等。

・除レキの基準を緩和してほしい。

■6　パワーアップ事業参加



【パワーアップ事業に関する要望】

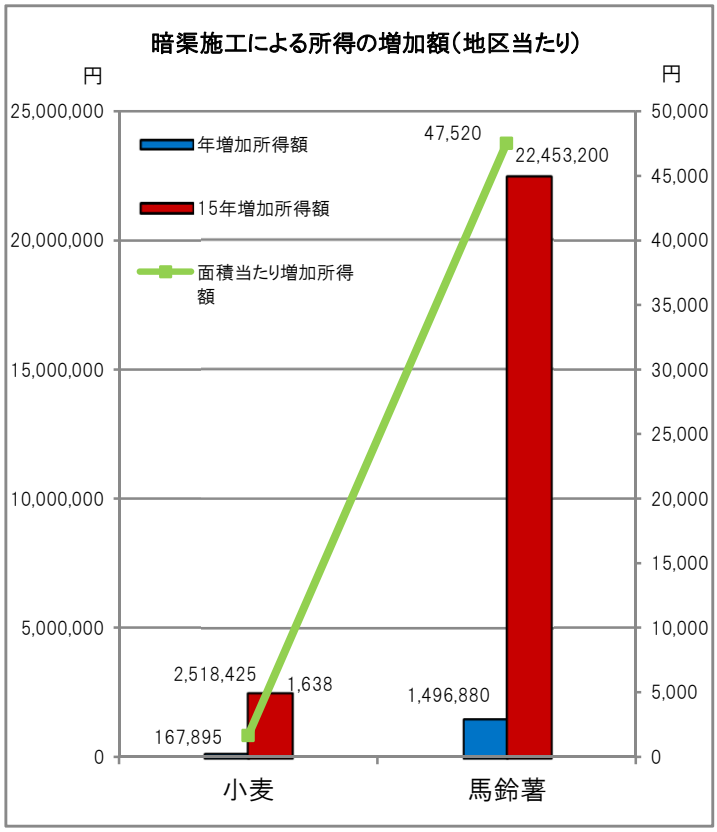
・畑の状態に応じて究極の選択（早期）をしてほしい。地下水が吹いて（古い暗渠の詰り）水が流れている為春からの営農が厳しい状況です。
・続けて欲しい
・継続してほしい
・20％以上の負担金では事業を行えないので。パワーアップ事業は継続して行ってもらいたいです。
・先行き不安定なのでパワーアップがなくなれば経営に支障をきたすのでぜひ続けてほしい

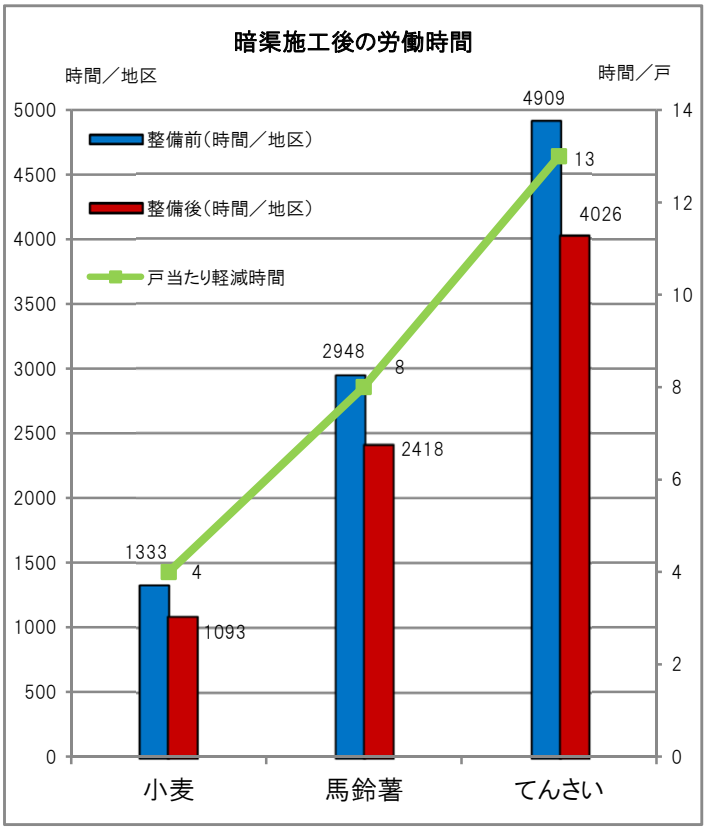
■7　全体をとおしての意見要望

・客土事業に対し良品土を用意してほしい（石入りの土はいらない）
・ほ場の状態を把握して事業順を決めてほしい。特に実態を優先し現状を観察した事業の推進を望む（期待します）
・今の農業情勢ではほ場整備を自力でできることはあまりないと思う。補助してほしい。
・測量・設計の担当者はもっと農家の言っている言葉を理解できる人をよこしてほしい。
・暗渠、客土はこの先も続けていかなければ収穫、品質に大きな打撃を与えるのでこの先も続けてほしい。
・借地に対しても同じだが地主は支払いたくないのでそんなジレンマもかかえている。農業者が物作りに専念できる環境を大きな枠組みの中で推進してもらいたい。

道営畑総事業　東藻琴西部地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

＜参考＞





作物	暗渠受益面積		平均増収量	販売価格	所得率	面積当たり増加所得額	年増加所得額		総労働時間	
	作付率	作付面積(a)					地区当たり	戸当たり	整備前	整備後
	(%)	① (ha)	② (kg/10a)	③ (円/kg)	④	⑤=②×③×④ (円/ha)	⑥=①×⑤ (円/地区)	⑦=⑥/66戸 (円/戸)	(時間/地区)	(時間/地区)
小麦	48.1%	102.5ha	20	21	0.39	1,638	167,895	2,544	1,333	1,093
馬鈴薯	14.8%	31.5ha	180	60	0.44	47,520	1,496,880	22,680	2,948	2,418
てんさい	26.1%	55.6ha	-	-	-	-	-	-	4,909	4,026
計							1,664,775	25,224	9,190	7,537

■暗渠受益面積：作物別の作付面積は地区の平均作付率により算出。
■面積当たり増加所得額：作物別の平均増収量、販売価格、所得率により算出。
■年増加所得額：暗渠排水の施工により増加する地区全体の所得額。暗渠受益面積と面積当たり増加所得額により算出。
■15年増加所得額：暗渠機能効果が15年持続した場合の増加所得額で、年増加所得額を15倍して算出。
　※販売価格：小麦は秋まき小麦、馬鈴薯は食用馬鈴薯、豆類は大豆の販売価格を適用。
■総労働時間
　・整備前：畑・野菜複合経営30haモデルの総労働時間「2,189時間」を基に作物別のha当たり労働時間を算出　し、これと暗渠受益面積により整備前の総労働時間を算出。
　・整備後：「営農の効率変化」アンケート結果により、整備前の労働時間を6割18%軽減させて算出。
　・戸当たり軽減時間：整備前と整備後の労働時間の差を地区の受益戸数「66戸」で除して算出。
（販売価格等はJA地域農業振興計画から引用）